

学校だより

神無月（かんなづき）

令和2年10月2日 今帰仁小学校

2020. October .Second (2nd)

文責：校長 屋良 篤

Number 30

運動会間近

いよいよ明後日は運動会ですね。練習の成果が十分に出来るよう明日のリハーサルも精一杯頑張らしましょう。さて、今年は新型コロナウイルスの影響で運動会も規模を縮小しての開催となりましたが、皆さんの気持ちはきっと晴れ晴れとしていると思います。その証として運動会のテーマは「全員が主役、世界にとどけ261の絆」ですね。さあ、一人一人の演技が全体の成功につながります。各学年が心を一つにして、かけっこ、リレー、表現運動、ダンス、エイサー等精一杯頑張ってください。皆さんの素晴らしい演技と集団の行動美を期待しています。

保護者の皆様方、子ども達の演技をご覧いただき激励をよろしくお願いいたします。

ヤンバルクイナ

今年は、ヤンバルクイナ発見からちょうど40年の年になります。1981年6月に本島北部で発見され、同年11月13日に命名されました。

つい先日、9月17日は、語呂合わせで「クイナ」つまり、ヤンバルクイナの日に制定されています。

ヤンバルクイナは天敵がほとんどいなかったため、羽が小さく退化し空を飛ぶことはできません。そのかわりに足が発達し、脚力が強く、速く走ったり、木登りをしたりすることが得意です。寝るときは、天敵に襲われないように木の上で寝ます。

しかし、外来種のマングースや野良猫の捕食、ロードキル等により2005年ごろには一時700羽まで減少し絶滅を危惧する非常事態宣言まで出されたことがありました。

しかし、国や県、国頭村等の保護活動により近年では1500羽まで回復しているそうです。

では、このヤンバルクイナがどうして

国の天然記念物になったのでしょうか。実は、この広い地球の中で、沖縄県の本島、しかも北部の国頭村にしか生息しない鳥だからです。（一部東村にいるという説もある）また、今でもまだ絶滅危惧種に指定されています。

これからも、ヤンバルクイナを大切にしていきたいですね。

世界でここだけ

